

* 赤トンボとは、秋に赤くなるトンボ科アカネ属の仲間のことです。

● はねに大きなもようがない

★裏面にしらべかたがのってるよ！



1. アキアカネ (トンボ科)
・6~11月 ・大きさ34~45mm
・平地からひくい山地の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。
6月頃に羽化し、夏の間は集まって山ですごし、秋に里へ下りてくる。



2. ナツアカネ (トンボ科)
・6~11月 ・大きさ34~41mm
・平地からひくい山地の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。
顔からおしりの先まで真っ赤になる。アキアカネより数が少ない。



3. マユタテアカネ (トンボ科)
・7~11月 ・大きさ33~35mm
・平地からひくい山地の木々にかこまれたしっ地や田んぼで見られる。
顔にまゆのようなふたつの黒いもようがある。おしりが真っ赤になる。



4. ヒメアカネ (トンボ科)
・7~11月 ・大きさ29~32mm
・平地からきゅうりょう地の水草の多いしっ地や田んぼで見られる。
赤トンボの中で一番小さい。おしりが真っ赤になる。

● はねの先におびがある

● はねの真ん中より先におびがある ● はねのつけねが赤い



5. ノシメトンボ (トンボ科)
・6~11月 ・大きさ40~49mm
・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。
赤トンボの中で一番大きい。顔からおしりの先までくすんだ赤になる。



6. コノシメトンボ (トンボ科)
・7~11月 ・大きさ36~42mm
・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、や田んぼで見られる。
体からおしりの先まで真っ赤になる。



7. ミヤマアカネ (トンボ科)
・7~11月 ・大きさ32~40mm
・平地からひくい山地の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。
オスは体全体が赤くなる。メスは、お腹の先に黒いもようがある。

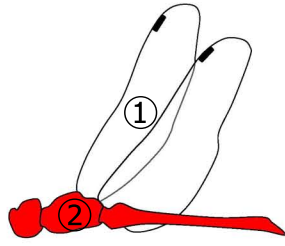


8. ネキトンボ (トンボ科)
・7~10月 ・大きさ38~45mm
・平地からきゅうりょう地の木々にかこまれた池、ぬまで見られる。
顔からおしりの先まで真っ赤になる。

■赤トンボのしらべかた

見つけた赤トンボの名前をしらべてみよう！

①はねのもよう



②むねのもよう



③赤トンボの名前表の写真をもてみよう

1. アキアカネ
2. ナツアカネ
3. マユタテアカネ
4. ヒメアカネ
5. ノシメトンボ
6. コノシメトンボ
7. ミヤマアカネ
8. ネキトンボ



つながって産卵するナツアカネのオス(前)とメス

せいじゅく
成熟すると赤くなる!

秋晴れの青い空に、群れをなして飛ぶ赤とんぼを見ると、「ああ秋が来たんだな」という気持ちになる人は多いでしょう。

この赤トンボ、初めから赤いのでしょうか？
じつは、羽化した頃はオスもメスも同じ黄色なのですが、産卵の時期が近づく夏の終わり頃から、オスはだんだん赤く色付いてきます。

種類によって赤くなり方も様々で、ナツアカネやコノシメトンボなどは、顔からお尻の先まで真っ赤になります。アキアカネやマユタテアカネなどはお尻が赤くなります。

しかし、どの種もメスはほとんど赤くなりません。

それぞれの赤トンボのどこがどれくらい赤いかや、色の違いなどを調べてみましょう！

・大きなもようはない



・先におびがある



・真ん中より先におびがある



・つけねが赤い



※夏から体の赤いショウジョウトンボや秋に多く見られるウスバキトンボは、レンジャーミニ図鑑No.14「武蔵野の公園で見られるトンボ」をご覧ください。